



堀川ダム見学会

福島県南事務所管理課
副主査 榎田卓也

地区名：西白河郡西郷村大字真船地内

1. はじめに

堀川ダム〈3つの目的〉

- I 「治水」……台風や豪雨による災害から暮らしを守る。
- II 「利水」……生活に大切な水道用水への水を蓄える。
- III 「環境保全」……ダム下流域の水辺の環境を守る



2. 目的

管内の小学生を中心に、ダムの役割(水の利用、環境保全等)や構造等を説明し、また、ダムの大きさを体感し、合わせてダムへの理解を深める。

3. 内容

小学生4年生の「水の循環」のカリキュラムの一環として、実際にダムを見ながら役割などの説明を行うとともに、実際にダム堤体を歩きダムの大きさを体感し、また、普段見ることの出来ないダム監査廊見学をすることで、興味・関心を持ってもらう。

4. おわりに

堀川ダムは平成12年に完成し、完成当初は多くの管内市町村の方々に感心を持って頂いており、平成30年度には27団体・1,028名がダム見学に訪れた。その思いを途切れることの無いよう、また地域の皆さんに愛されるダムとなるよう続けていきたいと考えます

砂防出前講座

- 地区名: 県南建設管内

1. はじめに

ふくしまの未来を拓く県土づくりプラン〈県土づくりの3つの柱〉

- I 「安全で安心できる生活環境の確保」
- II 「ふくしまの活力を支える社会資本の整備」
- III 「思いやりにあふれたまちづくり・地域づくり」

10のビジョン(目標)
【2 自然災害から命と財産を守ります。】

近年、予測できない集中豪雨が頻発しており、県民自らが集中豪雨の災害から身を守れるよう、「集中豪雨から命を守るプロジェクト事業」を実施しており、その取組のひとつとして「豪雨から子供の命を守る出前講座事業」を実施している。

2. 目的

総合学習の時間を活用した出前講座を行うことにより、児童・生徒が河川での安全な遊び方や気象変化に伴う水位上昇の危険性を学ぶことで、自らの命を守るための知識を身につける。

3. 内容

災害の種類や実例を紹介し、どのようなときに避難の必要があるか、また普段からの備えにはどのようなものがあるかを学ぶ。また砂防ボランティアと協力して土砂災害模型を使った解説を行っている。

4. 進捗状況

平成20年度から実施しており、平成30年度は5校の小中学校で実施した。

5. おわりに

出前講座で学んだことを家庭へ持ち帰り話しあってもらうことで、子供たちを通して家族全体、そして地域の防災意識を高めることへ繋げていきたい。

